

# 申 立 書

年 月 日

(宛先) 白井市長

所有者 住 所

氏 名

このたび、私が建築し、又は取得した次の家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の居住の用に供するものに相違ありません。

## 1, 家屋の表示

所在地

---

家屋番号

---

2, 入居日 年 月 日

3, 現在の居宅の処分方法 (該当する記号に○を付けてください。)

ア 所有物件を売却する。[売買契約書、売買仲介契約書の写し]

イ 所有物件を賃貸する。[賃貸契約書、賃貸仲介契約書の写し]

ウ 借家、社宅、寄宿舍、寮等である。

[現在の賃貸契約書、使用許可書、家主の諸証明等の写し]

エ 親族等が居住する。 [親族等の申立て書等]

オ その他 ( )

4, 入居が登記の後になる理由 (該当する記号に○を付けてください。)

ア 資金調達上抵当権の設定を急ぐため。

イ その他 ( )

なお、証明書交付後、この申立に虚偽のあることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。